

望月

七松小平太×
平滝夜叉丸

an unofficial fanbook presented by MATSURI

十八禁



プロ忍ifです





滝夜叉丸が学園で
頑張っていたのは
実技と座学だ

一時的に
そういう術を
使ったとしても

それが
主な仕事
だなんて……



実技も座学も
優秀であることを
自身も誇りに
思っていたはず



滝夜叉丸は
それでいいのか





出会う
ものだな

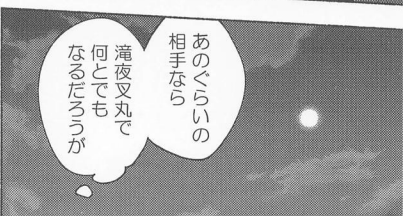


ちゃんと
隠し通路へ
向かっているな

滝夜叉丸は
味方……で
いいのか



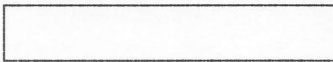
追手……

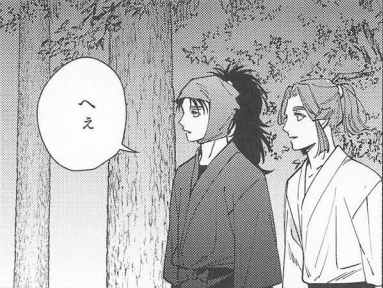


あのべつこの
相手なら

滝夜叉丸で
何とでも
なるだろうが





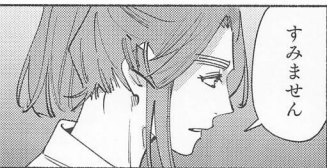


へえ

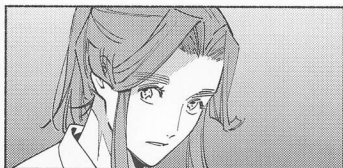


こういう設定も
似合うんです
よねえ私は

私の魅力に
女子たちは
メロメロです



すみません



滝夜叉丸は
その仕事か
したいのか？

長く
そんな仕事
ばかりと
聞いたが

したいかどうか
私の気持ちは
関係ありません



したいのか

私に似合う
仕事だと
思いませんか？



なんで
ですか

お前の
忍びとしての
能力がもったい
ないからだ

これも
能力のうち
です

動けよ

戦えるのに

……はは

先輩が
好きだった
ときのこと

思い出します





学園に
いたときも
そうやって

自分の考えを
疑わない

いつも
真っ直ぐな
ところが

好き
でしたけど

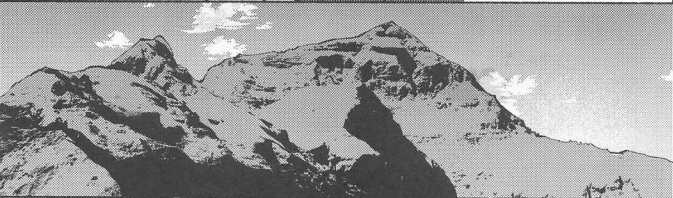


結局
何のお返事も
もらえなかった



七松先輩は

私のこと
どう思ってるん
ですか





わかってる



滝夜叉丸に
期待させてる
ことも

会うことは
甘えだと
いうことも



けど
やっぱり







今日は
どこかに
行くんですか

んー



っ
なんでそんなに
こだわるん
ですか



滝夜叉丸が
やりたいなら
何も言わない
んだけどな

.....

.....



城のお姫様から
町娘までみんな
私の思い通りに
喋ってくれる



私には
向いてると
思いますから

いいんです





しますが

やって
見せても
いいなら

そう
ですねえ



好きになるかも
しれませんよ

……私のこと



女性への術なら
一度見てみても
いいかもな

ふんふんふん
ふんふんふん



それは

いいな





さつきまで
目も合わせなくて
心の距離が
遠かったのに……
私が心を
開いてくれたと
相手は思います



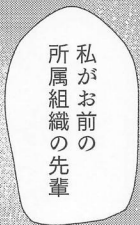
それから
目を合わせる



君はすごい









ずっと
お前のことを
狙ってるけど



組と仕事に
悪く影響するのを
恐れて

手を
出せずにいる



え……

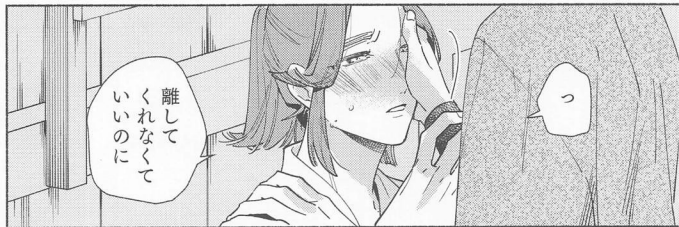
っと



一度抱いたら
もう離せない



……なんで
触ってくれ
ないんですか



離して
くれなくて
いいのに

っ

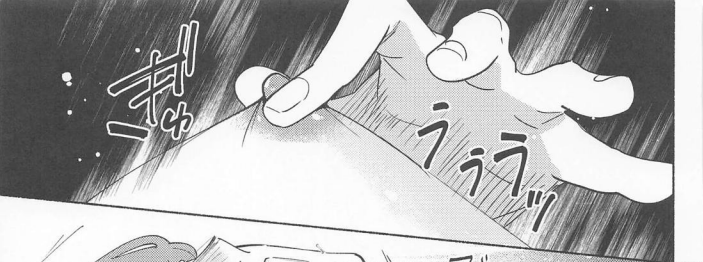


お前はずっと
この組に
いるわけじゃ
ないんだろ

私だって
そうだ









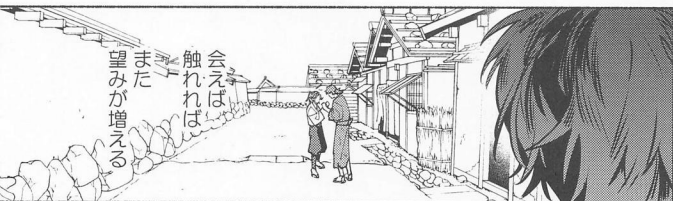




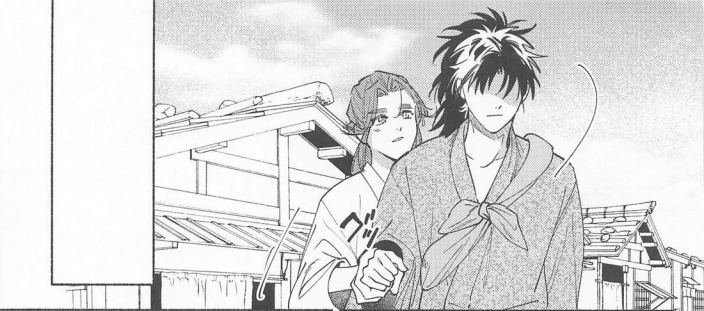














あの仕事を
続けてるのか
どうか気になって
会う約束をしたが



そんな単直に
聞くものか…?

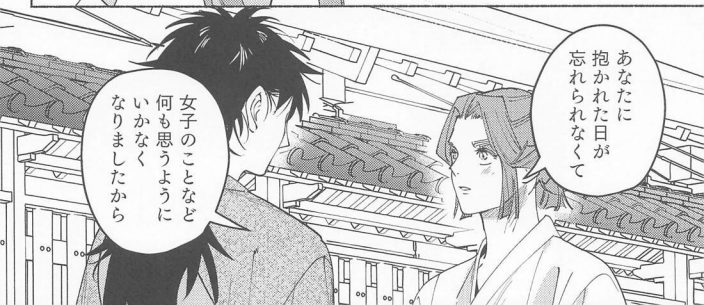
……いや私も
悪かったか…

あの日は
何も言わずに
帰って
すまんかった



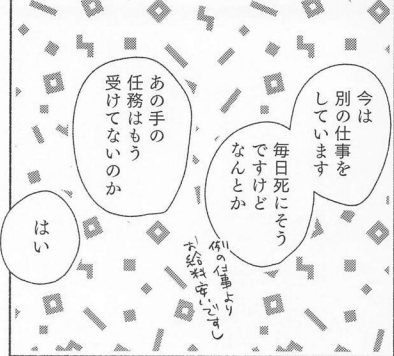
やっぱり
お前に
会うと……

もう
やめましたよ



あなたに
抱かれた日が
忘れられなくて

女子のことなど
何も思うように
いかなく
なりましたから



今は
別の仕事を
しています

毎日死にそう
ですけど
なんとか

例の仕事より
給料安いぞよ！

あの手の
任務はもう
受けてないのか

はい

っは——
……

え……？

そんなに
安心するほど
嫌でした？

命が
短くても

死ぬまで
お前の心のままに
生きる滝夜叉丸が
美しいのに



どうでもいい
人間のことなら
どうでもいいが



え、
なに……

何言っ
てるん
ですか

急に



お前が
好きだから
ごめん



……なに

なんで





会う約束を
すれば
やっぱり
触れたくなった



共に生きる
約束をすれば

きっと永く
生きてほしいと
願ってしまう

人は隴を得て
蜀を望む



けど

永く生きる
ことだけが
美しいとは思わない

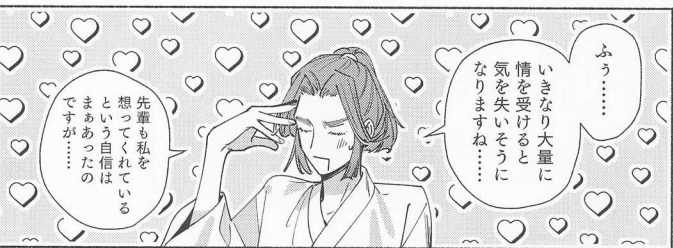
お前の
心のままに
生きてほしい
気持ちと

できるだけ永く
私の隣にいて
ほしい気持ちは
矛盾するのだ



すまん

だから
迷って



ふう……

いきなり大量に
情を受けると
気を失いそうに
なりますね……

先輩も私を
想ってくれて
いるという自信
はまああった
のですが……



細かいこと
気にして
るんですか



死ぬときは
死ぬ

それだけ
でしょ



心の約束があれば
今よりもっと
強いですよ

少なくとも
私は

私もあなたも
強いんです



お互いが
いなくなっても
共にいた時間は
残ります

一緒にいなければ
何も残らない
じゃないですか



安心して

スターに望みを
言ってみて
ください



ずっと
そばにいてくれ！

そう言って先にすぐ死んでいく滝夜叉丸のことは
どうやっても絶対に生まれ変わって抱きしめると誓う小平太がいる…

発行：20025.9.21
MATSURI/山口まつり
matsuri.yamaguchi@gmail.com
pixivID=13562930
TwitterID=ssrkwii
印刷：サングループ様

無断転載、複写、コピー、オークション・
フリマアプリ等への出品を禁じます。

この本は非公式であり、原作者・出版社とは一切関係ありません。

